



湯前町議会議長
倉本豊

昨年1月の議長就任以来、町民の皆様と同僚議員の力強いご支援で、円滑な議会運営ができましたことを、心よりお礼申し上げます。

議会改革が順調に進展

当議会では先の改選以来、「住民に見える議会」「住民が参加しやすい議会」「議会力・議員力の向上」の3点をスローガンに、着実に議会改革を進めています。

「住民に見える議会」として、町の広報誌に2ページで掲載していた「議会だより」を昨年度から別冊として全16ページで発行しています。企画・編集に携わった議員の努力もあり、1年目で県の町村議会広報コンタールの「特別賞」を受賞するなど高い評価を得ました。スマートフォンでも視聴できる一般質問

の動画配信も試験的にを行い、本年度中の正式導入を目指しています。

「住民が参加しやすい議会」として、湯前中学校3年生による子ども議会の開催や、各種団体との積極的な意見交換など、住民の声を町政に生かす努力を行っています。

「議会力・議員力の向上」として、他の町村議会ではあまり例を見ない「関連質問」の導入を行いました。議員全体で町執行部と対峙し、論点のかみ合った議論の実現に努めています。

好敵手としての役割

先の12月定例会において、鶴田町長は3期12年で勇退することを表明されました。地方自治体にとって非常に厳しい環境の中、町の先頭に立って舵取りを行ってこられたご努力に対し、心から敬意を表します。

ことし4月には新町長が誕生する予定ですが、町長に対する議会のスタンスは、パートナー（相棒）ではなく、ライバル（好敵手）であり続けなければなりませんと考えます。施策の構築をめぐっては調査・研究を深め、お互いに意見をぶつけ合った結果、町民にとって最良の施策が導き出されると信じているからです。

優先順位を厳格に

私は政治や議会の役割を「皆様からいただいた税金を、どのように配分するか決める仕事」であると思っています。議会では、町長から提案された予算が本当にそれでよいのかを厳しくチェックし、必要があれば修正を行います。一般質問などを通して、施策の提案をすることもあります。

ただし、町に入ってくるお金の額は、ほぼ決まっています。新たな施策を創設するときは「既存の事業費を削る」「起債（借金）をする」「基金（貯金）を取り崩す」などの工夫も必要です。皆様からの要望にすべてお答えしたいところですが、優先順位を付け、時にはお断りすることもあります。ご理解をお願いします。

町民の皆様の幸福度を少しでも上げていくために、議会がどのような考えの基に活動しているのかをご紹介します。町民の皆様は、ご支援・ご鞭撻を心からお願ひします。本年が皆様にとりまして輝かしい一年となることを心よりご祈念申し上げます。

昨年も町民の皆様には町政運営各般に渡り、お力添えいただいたことに対し、心から感謝を申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



湯前町長
鶴田正己

高い防災意識を

昨年を振り返りますと全国各地で豪雨や地震など災害が猛威を振りました。お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りしますとともに、被災地の復旧、復興を願うものです。本町においては大きな被害は出ておりませんが、この事は決して対岸の火事ではないことを肝に銘じておかなければなりません。

そのような中、地域を守る消防団活動で、消防ポンプ操法大会においては、第2分団第一部（上下染田）の団員の皆さんが郡の大会、県の大会を勝ち抜き、12年ぶりに富山県で開

催された全国消防操法大会に出場を果たしてくれました。本町にとっても明るい話題であり、誇らしくその活動に心強さを感じたところです。

地域の維持

高齢期を楽しく明るく健康な長寿社会への対応を目指し、「いつまでも元気に暮らしたい」という思いのもと、住民みずから介護予防に取り組む「いきいき健康クラブ」が各公民館単位で始まったことも今後の効果に期待しているところです。

ことしは浩宮殿下が天皇陛下に即位され新年号となる年であります。30年の平成の時代を振り返りますと、日本にとっても、本町にあっても激動の時代ではなかったかと思えます。人の暮らしは豊かになり便利にもなってきましたが、子どもたちの数は減少し、高齢者の皆様の安心な暮らしを守っていくことへの不安も広がっています。それは地域をどう守り維持していくかということにも直結しています。

希望を引き継ぐ

産業の担い手の確保、介護を含めた高齢者社会問題、集落の維持など、

日本の将来の縮図が本町の課題となっており。しかし、本町には受け継がれてきた文化があり、先人がこれまで築いてきた安全に暮らす事のできる地域があり、その事を支えてきた人のつながりがあると思います。

子どもたちの目はキラキラと輝き、希望に満ちた表情で明日をみています。子どもたちにこの町を引き渡すためにさまざまな課題解決に向け、確実に取り組んでいかなければならないと思います。

平成の時代は幕を下ろしますが、今後も、国・県の動向に注視していく中で、効率的かつ計画的な行政運営に努めていかなければなりません。各事業と施策を確実に進め、町民の皆様活躍をしっかりと支え、地域の暮らしを守り、引き続き町民一人一人が手を携えて歩んでいけるよう願うものです。

結びに、新春の門出にあたり、本町の限らない発展と町民皆様にとりまして、本年が素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げます。頭のあいさつといたします。